

経済データで見る「最近の世界経済動向(2017年2月～2017年4月) * 青字は悪化指数、%:前年比、CPI:消費者物価、PMI 製造業景況指数、2017.4. 20. 現在 日本機械輸出組合

	2017年2月	2017年3月	2017年4月	最近の経済動向
世界	トハイ原油 6日 55.3ドル、18日 53.1ドル、28日 54.9ドル	G20 過度な為替変動是正、成長弱い、財政改革 WTO 世界貿易量 1.3%増、経済成長率 2.2%増 トハイ原油 1日 55.9ドル、27日 48.7ドル、31日 51.7ドル	トハイ原油 4日 51.1ドル、12日 54.9ドル、19日 53.0ドル 1-3月:PC出荷 0.6%増 5年ぶり+	・米国は消費中心に堅調。欧州も消費中心に緩い回復持続。日本は車販売、生産、投資にやや明るさ。中国は 6.9%に。インド7%、フィリピン6%台、ベトナム5%台、インドネシア、マレーシア 4%台、タイ3%、シンガ2%台、韓台とも2%台。ブラジル、ロシアは長期低迷。
日本	株価:1日 19,148、7日 18,910、13日 19,459、27日 19,107 雇用:1月:失業率 3.0%前月比 0.1ポ改善 所得:1月:実質賃金 0.1%減、現金給与 0.3%増 消費:1月:消費支出 1.2%減、11カ月一、小売販売 1%増、新車販売 4.9%増 3カ月+、住宅着工 12.8%増 7カ月+ 受注:1月:機械受注 8.6%増、工作機械 3.5%増 2カ月連続+、輸出 8.8%増、産業機械 12.7%減、 生産:1月:鉱工業 3.7%、在庫 4.4%減、新車減、建設機械出荷 6.7%増 貿易:1月:輸出 1.3%増 2ヶ月連続+、春節で減、輸入 8.5%増 25ヶ月ぶり+ 収益:純利益:4-12月:伊藤忠 7%増、10-12月:上場企業 31%増、16年:純益:クボタ 11%減、営業益:キヤノン 35.6%減、 投資:1月:機械受注民需 11.3%増	株価:1日 19,393、13日 19,633、31日 18,909、 雇用:2月:失業率 2.8%、前月比 0.2ポ改善 22年ぶり低水準 所得:2月:実質賃金横這い、現金給与 0.4%増 消費:2月:消費支出 3.8%減 12ヶ月一、小売販売 0.1%増、新車販売 8.7%増 48.4万台、4カ月+、住宅着工 2.6%減、 受注:2月:工作機械 9.1%増 3カ月連続+、海外 12.1%増、産業機械 29.6%減 2ヶ月一 生産:2月:鉱工業前月比 2.0%増、建設機械出荷 10.7%増 貿易:2月:輸出 11.3%増 3ヶ月連続+、営業日増、輸入 1.2%増 2ヶ月連続+ 投資:2月:機械受注民需 1.5%増	株価:3日 18,983、18日 18,418、 景気:3月 大企業 PMI +12.2ポ 消費:3月:新車販売 8.7%増 69.1万台、5カ月+、16年度:新車販売:2.8%増 507.8万台 受注:3月:工作機械 22.6%増 4カ月連続+、16年度:工作機械 7.9%減、 貿易:3月:輸出 12.0%増 4ヶ月連続+、輸入 15.8%増 3ヶ月連続+ 収益:営業益:1-3月:キヤノン 2倍 800億円	(前々月)・GDP10-12月は前期比年率 1.2%増4四半期+。 1月失業率 3.0%でやや改善、実質所得横這い、現金給与はやや+。車販売3カ月+、住宅着工 7カ月連続+。消費支出 11カ月連続一、輸出 2カ月+、鉱工業生産2カ月+、設備投資増加傾向。景気は消費は依然マイナスも車、住宅、投資に明るさ。上場企業純利益 10-12月は 31%増、6四半期ぶり+、商社、通信、ソフトが増益。株価は高水準維持。景気回復持続。輸出拡大、財政赤字縮小が課題。為替動向が懸念材料 (前・当月)・GDP10-12月は前期比年率 1.2%増4四半期+。 2月失業率 2.8%、0.2ポ改善、実質所得横這い、現金給与はやや+。車販売5カ月+、住宅着工8カ月ぶり。消費支出 12カ月連続一、輸出4カ月+、鉱工業生産2カ月+、設備投資増加傾向。景気は、消費は依然マイナスも車販売、生産、投資に明るさ。上場企業純利益 10-12月は 31%増、6四半期ぶり+、商社、通信、ソフトが増益。株価はやや低下傾向。景気回復持続。輸出拡大、財政赤字縮小が課題。為替動向が懸念材料
アジア・大洋州	株価:上海: 3日 3,140、14日 3,261、28日 3,241 中国:1月:輸出 7.9%増、輸入 16.7%増、PMI51.3、0.1ポ悪化、新車販売 0.2%増営業日少、16年 純益:BYD 79%増 820億円、16年度:VB投資 70%増 韓国:1月:輸出 11.2%増、輸入 18.6%増、10-12月 GDP 2.3%増 台湾:1月:輸出 7%増 4ヶ月+、輸入 8.4%増 5ヶ月+、海外受注 5.2%増 16年 GDP 1.4%増 フィリピン:1月:新車販売 27.8%増、10-12月 GDP 6.6%増 ベトナム:1月:新車販売 12.7%減、 インドネシア:1月:新車販売:1%増、 タイ:8日:政策金利 1.5%据置、1月:新車販売 10.5%増、10-12月 GDP 3.0%増 マレーシア:1月:新車販売 0.2%増、10-12月: GDP 4.5%増、16年:4.2%増 シンガポール:1月:新車販売 6.6%増、10-12月 GDP 前期比年率+12.3% インド:8日:政策金利 6.25%据置、1月:新車販売 11.2%増現金不要販売増、32.7万台、10-12月:純益:タタ 96%減高領紙幣廃止	株価:上海: 10日 3,212、24日 3,269、31日 3,222 中国:2月: 輸出 1.3%減、輸入 38.1%増、PMI51.6、前月比 0.3ポ改善、1-2月:輸出 4.0%増、輸入 26%増、小売売上高 9.5%増 11年ぶり1桁、工業生産 6.3%増、固定資産投資 8.9%増、新車販売 8.8%増、16年:純益:華為 0.4%増、5100億円、上海汽車 7%増 5100億円、17年度:GDP 全人代 6.5%前後 韓国:10日朴大統領罷免、2月:輸出 20.2%増、入 23.3%増、 台湾:2月:輸出 27.7%増 5ヶ月+、輸入 42.1%増 6ヶ月+、10-12月:純益:ホンハイ 30%増、16年:純益:ホンハイ 1%増 5,400億円、TSMC 9%増 1.2兆円、 フィリピン:2月:新車販売 6%増、 ベトナム:2月:新車販売 50.4%増、 インドネシア:2月:新車販売:7%増、 タイ:2月:車生産 7%減、新車販売 19.9%増、 マレーシア:2日政策金利 3%据置、2月:新車販売 12.1%増、 シンガポール:2月:新車販売 7%増、 インド:2月:新車販売 8.7%増、32.2万台	株価:上海:5日 3270、11日 3,288、19日 3,170 中国:3月: 輸出 16.4%増、輸入 20.3%増、新車販売 4%増、PMI51.8、0.2ポ改善、工業生産 7.9%増、1-3月 GDP 6.9%増、0.1ポ増、インフラ投資 23.5%、固定資産 9.2%、小売売上 10%、輸出 8.2%、工業生産 6.8%、 韓国:3月:輸出 13.7%増、1-3月:営業益 サムスン電子 48%増 9,900億円 台湾:3月:輸出 13.2%増 6ヶ月+、1-3月純益:TSMC 35%増 3150億円 フィリピン:3月:新車販売 32.9%増 ベトナム:3月:新車販売 8.3%増、1-3月 GDP 5.1%増サムスン減産 インドネシア:3月:新車販売 8.3%増、 シンガポール:1-3月 GDP 2.5%増 インド:5日インド株最高値、7日金利据置 6.25%、3月:新車販売 9.8%増、37.0万台 16年度:新車販売 8.2%増 337万台、	(前々月)・中国 10-12月 GDP6.8%でやや回復。輸出1-2月はプラスへ。小売売上高は 11年ぶり1桁へ、新車販売やや減速、設備投資8%台維持、VB投資盛ん、工業生産、不動産投資も6%台。景気はやや持ち直しも緩やかに減速。IT企業業績減速。株価は 3200台へ、韓国、輸出4カ月+、建設投資・消費増で GDP2%台へ、企業業績は電子明暗、自動車マイ入、台湾、輸出5ヶ月連続+、生産回復傾向で GDP 2%台回復。企業業績好調。直近の ASEAN の GDP、フィリピン、ベトナム 6%台、インドネシア、マレーシア 4%台、タイ 3%、シンガ 2%台。インドは生産・投資マイナス、車販売2カ月+、7%成長 (前・今月)・中国 1-3月 GDP6.9%、インフラ投資増加。輸出 3月はプラス、小売売上高は 10%へ、新車販売やや減速、固定投資 9%台、VB投資盛ん、工業生産 7%台へ。景気はやや持ち直しへ。IT企業業績減速。株価は 3200前後。韓国、輸出5カ月+、建設投資・消費増で GDP2%台へ、企業業績は電子回復。台湾、輸出 6ヶ月連続+、生産回復傾向で GDP 2%台回復。企業業績好調。直近の ASEAN の GDP、フィリピン 6%台、ベトナム 5%台、インドネシア、マレーシア 4%台、タイ 3%、シンガ 2%台。インドは生産・投資マイナス、車販売 3カ月+、GDP7%成長、株価好調

北米	<p>-GDP 10-12 月前期比年率 2.1%</p> <p>-景気:2 日 FOMC 消費者・企業心理改善、早期の利上げ適切</p> <p>-財政・金融:1 日 FRB 政策金利据置、追加利上げ見送り</p> <p>-株価:<u>2 日 19,884</u>、27 日 20,837 最高値、28 日 20,812</p> <p>-雇用:1 月:失業率 4.8%前月比 0.1 ポ悪化、</p> <p>-消費:1 月:小売売上高 5.6%増、新車販売 1.8%減、住宅着工 10.5%増、新築戸建 5.5%増、中古住宅 前月比 33%増、</p> <p>-生産:1 月:鉱工業横這い、前月比 0.1%減</p> <p>-貿易:1 月:輸出 9.5%増、輸入 9.2%増</p> <p>-収益: 11-1 月:純益:HP3%増、HPE 横這</p> <p>-投資:1 月:設備稼働率 75.5%</p>	<p>-財政・金融:1 日 FRB 米経済緩やかに拡大、15 日 FRB 追加利上げ 0.25%</p> <p>-株価:1 日 21,115 最高値、<u>27 日 20,550</u>、31 日 20,663</p> <p>-雇用:2 月:失業率 4.7%、前月比 0.1 ポ改善</p> <p>-消費:2 月:個人消費前月比 0.1%増、小売売上高 5.7%増、新車販売 1.1%減 133 万台、住宅着工 6.2%増、新築戸建 12.8%増、中古住宅 5.4%増</p> <p>-生産:2 月:鉱工業 0.3%増、前月比横這</p> <p>-貿易:2 月:輸出 7.6%増6カ月+、輸入 4.6%増</p> <p>-投資:2 月:設備稼働率 75.7%</p>	<p>-景気:11 日 FRB かなり良い状況、利上げも</p> <p>-株価:4 日 20,689、18 日 20,523</p> <p>-雇用:3 月:失業率 4.5%、前月比 0.2 ポ改善、10 年ぶり水準、完全雇用</p> <p>-所得:3 月 賃金 2.7%増、</p> <p>-消費:3 月:小売売上高 5.2%増、前月比 0.2%減、新車販売 1.6%減 3ヶ月連続-、住宅着工 9.2%増、前月比 6.8%減</p> <p>-生産:3 月:鉱工業 1.5%増、前月比 0.5%増</p> <p>-収益: 1-3 月:純益:主要500社 10.2%増</p> <p>-投資:3 月:設備稼働率 76.1%</p>	<p>(前々月)・GDP は10-12月前期比年率 1.9%増で 16 四半期連続+。2月失業率 4.7%、0.1 ポ改善。住宅販売伸び率堅調も車販売 2 カ月連続-、所得改善傾向で小売売上は堅調。設備投資やや増、生産は横這い。景気はやや弱含みも消費を中心に堅調。企業収益 10-12 月 5.7%増で2四半期+、IT・半導体・ソフト関係好調、航空機、産業システムも回復。株価は最高値更新。成長持続、雇用拡大が課題。通商政策、今後の金利上げの影響が懸念材料。</p> <p>(前・今月)・GDP は10-12月前期比年率 2.1%増で 16 四半期連続+。3 月失業率 4.5%、0.2 ポ改善。住宅販売伸び率堅調も車販売 3 カ月連続-、小売売上は堅調。設備投資やや増、生産はやや上向き。輸出6ヶ月連続+好調、景気は消費を中心に堅調。企業収益 1-3 月 10.2 増で3四半期+好調、IT・半導体・ソフト関係好調、航空機、産業システムも回復。株価は高水準維持。成長持続、雇用拡大が課題。通商政策、今後の金利上げの影響が懸念材料。</p>
欧州	<p>-株価:FT:1 日 <u>7,107</u>、22 日 7,302、28 日 7,263</p> <p>-雇用:1 月:失業率:ユーロ 9.6%横這、独 3.9%、仏 10.0%、伊 11.8%、スペイン 18.2%、蘭 5.3%、ポーラ 5.4%、</p> <p>-消費:1 月:小売売上高:ユーロ 1.5%増、独横這、仏 2.4%増、英 0.5%増、スペイン 1.3%減、ポーラ 6.5%増、新車登録:欧州 9.6%増、独 10.5%増、仏 10.6%増、英 2.9%増、伊 10.1%増、スペイン 10.7%増、蘭 27.1%増、ポーラ 19.8%増、</p> <p>-生産:1 月:鉱工業:ユーロ 0.2%増、独 0.3%減、仏 0.5%増、英 4.8%増、伊 0.2%減、スペイン 2.8%増、蘭 4.4%増、ポーラ 4.3%増</p> <p>-貿易:1 月:輸出 13%増 3 カ月+、輸入 17%増</p> <p>-収益:10-12 月:純益:主要 600 社 14.4%増、</p>	<p>-政治:29 日 英国、EU 離脱通知</p> <p>-株価:FT:<u>9 日 7,314</u>、20 日 7,429、<u>31 日 7,322</u></p> <p>-雇用:2 月:失業率:ユーロ 9.5%、0.1 ポ改善、独 3.9%、仏 10.0%、伊 11.5%、スペイン 18.0%、蘭 5.3%、ポーラ 5.3%、</p> <p>-消費:2 月:小売売上高:ユーロ 1.8%増、独 1.6%、仏 2.8%増、英 3.5%増、スペイン横這、ポーラ 6.9%増、新車登録:欧州 0.9%増、独 2.7%減、仏 2.9%減、英 0.3%減、伊 6.2%増、スペイン 0.2%増、蘭 13.8%増、ポーラ 12.5%増、</p> <p>-生産:2 月:鉱工業:ユーロ 1.2%増 7 カ月+、独 1.6%増、仏 0.8%減、英 3.9%増、伊 1.9%増、スペイン 2.5%増、蘭 2.9%増、ポーラ 4.9%増</p> <p>-貿易:2 月:輸出 4%増 4 カ月+、輸入 5%増</p>	<p>-株価:FT:<u>3 日 7,282</u>、11 日 7,365、<u>18 日 7147</u></p> <p>-消費:3 月:新車登録:欧州 10.6%増、独 11.4%増、仏 7.0%増、英 8.4%増、伊 18.2%増、スペイン 12.6%増、蘭 24.2%増、ポーラ 26.0%増、</p>	<p>(前々月)・GDP10-12 月ユーロ圏 1.7%成長、15 四半期+。失業率は 1 月 9.6%で横這。車販売2月横這いも41カ月ほぼプラス維持。消費は30カ月連続+、ポーラ、スペイン、仏、英が堅調。輸出2カ月+、投資やや増、生産は5カ月連続+。景気は低水準も堅調に推移。企業業績 10-12 月二桁増、自動車、電機回復、産業システム好調。株価も 7300 台へ。高水準の失業率低下、景気回復持続が課題。英 EU 離脱決定、難民問題、ウクライナ問題、南欧債務、景気下振れが懸念材料</p> <p>(前・今月)・GDP10-12 月ユーロ圏 1.7%成長、15 四半期+。失業率 2 月 9.5%、0.1 ポ改善。車販売 3 月二桁増 42 カ月ほぼプラス維持、消費は 31 カ月連続+、英、仏、ポーラが堅調。輸出4カ月+、投資やや増、生産は 7 カ月連続+。景気は低水準も堅調に推移。企業業績 10-12 月二桁増、自動車、電機回復、産業システム好調。株価も 7300 前後。高水準の失業率低下、景気回復持続が課題。英 EU 離脱決定、難民問題、ウクライナ問題、南欧債務、景気下振れが懸念材料</p>
中東ア	<p>-トルコ:1 月:新車販売 7.1%増 3.6 万台、10-12 月 GDP 3.5%増、16 年 GDP 2.9%増</p> <p>-南ア:1 月:新車販売 3.7%増 5 万台、10-12 月:GDP 前期比年率 0.3%減</p> <p>-ケニア:16 年:新車販売 30.6%減</p>	<p>-トルコ:2 月:新車販売 11.2%減 4.8 万台、16年:GDP 2.9%増</p> <p>-南ア:2 月:新車販売 0.1%減 4.8 万台、</p>	<p>-トルコ:3 月:新車販売 11.3%減 7.6 万台、</p> <p>-南ア:3 月:新車販売 2.1%増 4.9 万台、</p>	<p>・シリア、イラク、リビア、イエメン、ナイジェリア、南スーダン等で政情不安定。イラン、エジプト安定化。サウジアラビア財政悪化、UAE、クウェート、オマーンも、トルコ 10-12 月 GDP 再び+。南ア、物価高、高金利、車販売減速等も GDP10-12 月前期比微減。サブサハラ 1%台成長。政治の安定化、資源価格の安定が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:22 日 0.75%政策金利上げ 12.25%へ、1 月:車販売 5.2%減 14.7 万台</p> <p>-メキシコ:9 日 0.5%利上げ年 6.25%、1 月:車販売 3.0%増</p>	<p>-ブラジル:2 月:車販売 7.6%減 13.6 万台</p> <p>-メキシコ:30 日政策金利 0.25%引上 6.5%へ、2 月:自動車生産 11.1%増、30.1 万台、車販売 6.5%増 11.8 万台</p>	<p>-ブラジル:12 日政策金利 1%上げ 11.5%へ、3 月:車販売 5.5%増 18.9 万台</p> <p>-メキシコ: 3 月:車販売 17.2%増 13.7 万台</p>	<p>・ブラジル経済は物価高、通貨安、高金利、消費、生産、投資の低迷で GDP10-12 月 0.9%減と 11 期連続-。ペネズエラは経済混迷。メキシコ経済、車販売、農業好調等で 10-12 月は 2.2%成長。</p>
露東欧	<p>-ロシア:10-12 月:GDP 0.3%増、1 月:新車販売:5.0%減 7.8 万台、16 年 GDP 0.2%減</p>	<p>-ロシア:24 日政策金利 0.25%引上 9.75%へ、2 月:新車販売:4.1%減 10.7 万台、</p>	<p>-ロシア:3 月:新車販売:9.4%増 13.8 万台 4ヶ月ぶり+、</p>	<p>・ロシアは対口制裁、原油安等輸出減、賃金減少、通貨安、消費・投資・生産低迷、GDP10-12 月 0.3%増。新車販売 4 カ月ぶりプラス。対口経済制裁、原油安の影響懸念材料、経済回復が課題</p>